

TYPE OF INDUSTRY

ロボが主役

ロボテス EXPO

福島イノベーション・コースト構想

推進機構（福島市）が18～19日に福島ロボットテスٹフィールド（福島県南相馬市）で開催した「ロボテスEXPO 2021」では、全国から参加した37事業者のうち、17事業者が同フィールドの21施設をフルに使用して飛行ロボット（ドローン）やロボットを実演した。ロボットが主役となり、さまざまな環境での性能を示すこれまでにない展示会となった。

（いわき・駒橋 徐）

センチュリー（東京）ロボテックス（横浜市都台東区）は6枚羽根 旭区）はガソリンエンジンのドローン2機種で災害シミュレーションを演じた。燃の飛行やホバリングをえている地上の対象物 披露。英国製燃料電池に消火剤や、浮き輪や を搭載し、1・5時間 ウィンチを投下した。飛行できるドローンも 開発中のペイロード 公開した。（可搬重量）25kgの 南相馬市の産業団地ドローンも展示した。に工場を建設中のテラ

デンマークのOnRobot（オンロボット）は電動式のマグネツトグリップパー「MG10」を発売した。把持力をプログラムすることで調節できるほか、グリップには部品を検出するセンサーを内蔵してハンドリング力を高めた。自動車や航空

宇宙部品などを手がける製造業を対象に訴求する。パレタイジングや工作機械に部品を供給するマシンテンディングなどでの利用を想定する。一般的なマグネットグリップパーはオン・オフ機能のみを持った板などにも対応する。薄い金属シートを一枚載すため、部品の存取が容易にできる。また、センサーも搭載し接続が不要で容易に設置できる。

複雑でコストのかかる外部給気や、ケーブル接続が不要で容易に設置できる。

また、センサーも搭載し接続が不要で容易に設置できる。

また、センサーも搭載し接続が不要で容易に設置できる。

また、センサーも搭載し接続が不要で容易に設置できる。

また、センサーも搭載し接続が不要で容易に設置できる。

飛行 水中・公道走行

多様な環境下 性能検証

ラボ（愛知県春日井市）は開発中の長距離無人航空機（翼長4m）を飛行。レシプロエンジンを搭載した。球形状ドローンを開発するブルイノベーション（東京都文京区）は「南相馬市遠隔操作で試験用トンネル内を精査する実証を行った。」



福島ロボットテスٹフィールド（福島県南相馬市）の市街地エリアを無人走行車が走る

市）は自社開発のドローン（東京都市文京区）は「南相馬市遠隔操作で試験用トンネル内を精査する実証を行った。」

福島で21実証施設 活用

などを想定、実演した。屋内水槽棟ではタカワ精密（同）、東日本計算センターなどが開発する、原子力発電所の廃炉作業を想定した放射線環境下で自律制御する直径28cmの縦型水中ロボット「ラド型水中ロボット」の活用を目指す」（金岡行。スペースワン（福島県郡山市）は3機種の水中ドローンのうち4本のクローラーで水深150m、最大水深移動半径400mに災害対応ロボット、MBSR（最大高さ1750mm）も展示、実演した。

ロボット



ロボットの電源が切れた場合でも、把持した部品の落下を防ぐことが可能。

都文京区、佐部浩太郎社長、03・3868・2551）は日本海事協会と共同で、飛行ロボット（ドローン）による、船舶の船倉内検査の実証実験を行った。自律飛行でき暗所対応が可能な専用ドローン「エアロボインスパクション」を用い、

暗所屋内で、事前に設定した経路を自動飛行させ、撮影して船倉検査に使用可能な写真データを取得した。暗所のためドローン機体に高輝度照明を設置し、機体のバッテリーから100Wを供給して予備電源なしに光源の確保に成功。全地

「SIE」が拓く「ロボットの未来」は休みました。

人機一体（滋賀県草津市）は人型重機の零式人機「バージョン1.0」を完成、初公開した。頭部がセンサーとなり、パイロットが遠隔操作して2本のロボットハンドを動かす。JR西日本、日本信号と共同開発し、「この試作機から今後は実証機へ高め、工場、建設、インフラ現場で実用化を目指す」（金岡行。スペースワン（福島県郡山市）は3機種の企業11社が開発した4本のクローラーで水深150m、最大水深移動半径400mに災害対応ロボット、MBSR（最大高さ1750mm）も展示、実演した。